

く・ら・そ

No.3



「く・ら・そ」はこれから北海道で定住先を探す方を応援するニュースレターです。

今号では、〈移住者インタビュー〉〈地域おこし協力隊募集情報〉〈上川振興局の4自治体紹介〉をお届けします。

道内の多くの自治体で、独自の移住・定住者支援をおこなっています。右記QRコードから今回ご紹介しているまちの移住定住情報をご覧ください。



名寄市



東川町



南富良野町



下川町

余市町で移住者インタビュー

NPO法人 北海道エコビレッジ推進プロジェクト(HEPP)

代表 坂本純科さん

※まず「エコビレッジとは何か」ということをHPなどでしらべていただくことをお勧めします。HEPPのWEBサイト→
* * * * *

坂さんは関東出身で大学を機に来道。札幌市職員を経て、2006年～2008年にヨーロッパ、特にイギリスを中心に「エコビレッジ」を巡りました。帰国後、「自分もそういうところで暮らしたい」という思いと、2008年リーマンショックの直後、家族も友達も頼ることができず年末年始を公園で過ごす人の姿を映像で見て、日本でも地縁血縁ではない大きなつながりの中で暮らせるしくみが必要になっていると感じ、エコビレッジを立ち上げました。

—どうして、余市を選んだのか？

北海道のいいところは、食やエネルギーの自給を現実的にできる、ということもありますが、一番大きかったのは「自由な文化」です。故郷や文化というのは「守るもの」という要素が強いのと思いますが、北海道はそれを自分たちでつくることできる、と思いました。故郷というのは、必ずしも自分が生まれたところではなく、「自分が一番思いをかけたところ」だと私は考えています。そして、地元の人達と寄り集まったさまざまな人達といっしょに、故郷や文化をクリエイティブしていきたいし、ここにはそれができる空気がある、と思って余市を選びました。

—実際に、未経験者が新規就農して生活していくには？

新規就農者がいきなり農業だけで食べていくのは難しく、まったく知らない地域に一人で入るのも大変です。このあたりでは、ハウス栽培のトマトかワインぶどうが比較的に新規就農者にもやりやすいと言われていています。家族経営の農家の場合、冬は、スキー場や除雪のアルバイトをしている方も多いです。今後、加工や飲食、農家民泊などの六次化農業への需要が高まっていますが、私たちは一人では経済的技術的に難しいことをグループでシェアしたり分担したりすることで実現させようと試みしています。



地域おこし協力隊@上川振興局

▶地域おこし協力隊とは、そもそも…。

総務省が地域活性化の目玉企画として始めた協力隊も7年が経過し、全国に定着してきました。

この制度は人口減少や高齢化が進む地方において、都市部から人材を受け入れ、仕事をしてもらい、定住・定着をはかるものです。ポイントは最長3年間は収入が保証(200万円/年)され、住居と仕事も基本的には役場が用意します。3年後は自力でその町に自立・定住することが求められることとなります

▶上川地方の現在の募集状況

7月22日現在で協力隊を募集しているのは、東神楽町、剣淵町、占冠村、下川町です。各自治体の求める仕事の概要は以下の通りです。

東神楽町：①町民の体力向上支援員(スポーツ行事支援、部活支援)

②年齢制限：39才まで。

③報酬月額：約18万円

剣淵町：①観光振興支援、自由企画でまちおこし支援

②年齢制限：40才まで。

③報酬月額：約20万円

占冠村：①集落支援

②年齢制限：40才まで。

③報酬月額：約13万円から前歴による

下川町：①タウンプロモーション支援

②年齢制限：50才まで。

③報酬月額：約20万円

▶上川地方の特徴

今後、ほかの自治体も募集を行うでしょう。関心のある自治体で募集が出ている場合は、募集要項を読むだけではなく、直接担当者に連絡し、話をしてみることが大事です。募集要項からは読み解けない、自治体の思いに触れることも大切です。上川管内は農業・林業地域でありながら、例えば剣淵町は「絵本の里」東川町は「写真の町」「クラフトの町」など、文化芸術的なまちづくりへの取り組みもさかんです。



くらべてみよう、北海道のまち ～上川振興局編～

	市営・町営住宅	公共料金※1	学校数	子育て支援	子ども医療費助成※3	高齢者支援
名寄市	定期的(年4回)に広報紙・HPで公募。 空戸数などによって変更有り。	上水 1,977円 下水 3,800円 国保 90,000～ 96,000円	小 8 中 4 高 2	保育料のめやす※2 6,000円	入院、通院 未就学児迄 入院のみ 小学校 6年生迄	配食サービス 1食 460円 外出支援サービス 緊急通報システム
東川町	毎月広報紙・HPで公募。	上水 0円 下水 2,830円 国保 105,000～ 110,000円	小 4 中 1 高 1	保育料のめやす※2 4,600円	すべての通院、入院 15歳以下	あんしん連絡器設置 配食サービス ハイヤー料金助成券
南富良野町	定期的(年4回)に広報紙・HPで公募。 空戸数などによって変更有り。	上水 2,120円 下水 3,087円 国保 85,000～ 90,000円	小 2 中 1 高 1	保育料のめやす※2 12,370円 すこやか出産支援金	すこやか子ども医療費 入院、通院の自己負担分全額 22歳(学生等)以下	おむつ等助成 移送サービス 配食サービス
下川町	空き家がでたら広報紙で公募	上水 2,230円 下水 2,260円 国保 95,000～ 100,000円	小 1 中 1 高 1	保育料のめやす※2 6,600円 おむつ等助成・2才以下 月 3,000円 入学準備金 通学費助成金 (下川商業高等学校)	通院・入院・指定訪問 15才以下	緊急通報システム 外出支援・除雪・配食 サービス 入湯料等の助成 週1回サロン実施

※1 北海道HP「北海道内の市町村の財政状況」(平成27年3月31日現在)より。上水は一箇月当たり10㎡使用した場合
下水は一箇月当たり20㎡使用した場合、国民健康保険は被保険者一人当たりの平均年額。

※2 例として、市町村税均等割のみの世帯の3歳児の保育にかかる費用を記載しています。参考：札幌市は8,800円

※3 子ども医療費助成は、子どもの年齢等によって所得制限の有無あり(詳しくは各市町村窓口でご確認ください)

名寄市 「星・雪 きらめきみどりの里 なよろ」

北海道の北に位置する名寄市は、天塩川と名寄川が豊かな恵みをもたらし、もち米は日本一の作付面積、アスパラガスは北海道有数の作付面積・収穫量を誇る農業を基幹産業とする都市です。名寄市では「なよろの冬を楽しく暮らす条例」という珍しい条例を制定し、厳しい冬を逆手にとってスキーやカーリング、ほのかな雪あかりを灯すスノーランタン制作などさまざまな取り組みをしています。

南富良野町 「イトウと暮らす町づくり」

町総面積の約9割が森林地帯で、町の中央には金山ダムによってできた人造湖「かなやま湖」があります。豊かな森林を利用した林業と広大な土地を利用したジャガイモやニンジンなどの農業を基幹産業として発展するとともに、近年、富良野やトマム・サホロのリゾート地の麓に位置する恵まれた立地条件のもと、かなやま湖や空知川を活かしてカヌーやラフティングなどの自然体験観光も盛んに行われています。

東川町 「人と自然がきらめく町」

北海道のほぼ中央に位置する「写真の町」東川町。大雪山の雪解け水がゆっくりと時間をかけて流れてくる地下水を生活水とする、北海道で唯一上水道の無い町です。大雪山連峰「旭岳」の麓で、雄大な自然景観に恵まれ、豊かな水と肥沃な大地の恵みと共に暮らしています。北海道最高峰の旭岳がその町域にあり、その登山口にあたる旭岳温泉街と天人峡温泉は、夏と紅葉の秋に大変賑わいます。

下川町 「おいでよ。森林と人が輝く しもかわ」

雄大な自然環境に恵まれ、町の90%を森林が占めています。真夏には30℃、真冬には-30℃に達する寒暖差の激しい四季の変化に富む町です。下川町の森林経営は、循環型森林経営と呼ばれ、大きな木材はもちろん、製材に適さないものや端材、葉に至るまで、無駄なく使いつくすのが特徴です。農業としては、糖度の高いフルーツトマトやトマトジュース、グリーンアスパラや珍しいホワイトアスパラ、小麦が有名です。

発行 特定非営利活動法人 北海道ふるさと回帰支援センター

住所 〒064-0808 札幌市中央区南8条西2丁目5-74

市民活動プラザ星園 405号室

電話 011-211-0261 FAX 011-211-0271

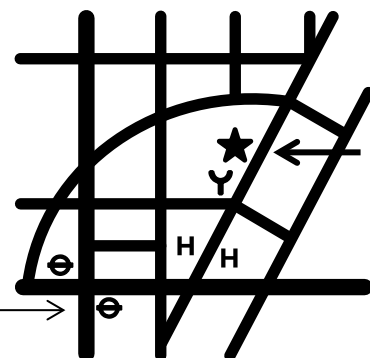
HP <http://www.furusato-kaiki.jp/>

協力 北海道NPO被災者支援ネット

電話 011-552-5900 携帯 080-3230-5900

E-mail kitanpo@gmail.com HP <http://www.npohotweb.com/>

地下鉄南北線
1・2番出口
中島公園駅



市民活動プラザ星園
(消防署となり)

「く・ら・そ」は「平成28年度年賀寄付金配分事業」の一環として発行しています。